

Let's Go Outdoor! ファミリーキャンプ 持ち物チェックリスト CHECK!

■アイテム

■必要な目安 (4人想定)

ポイント

チェック欄

キャンプ用品基本アイテム

テント (宿泊スペース)	1	「人数+1人用」程度のサイズを選ぶ 例)「4人家族であれば 5人用」がおすすめ。 ペグ・ハンマー・ロープはテントに付属していますが環境に合わせたものを準備すると◎	
スクリーンタープ (日よけ・虫除け)	いずれか1	テントのリビング部分へ食事の時に虫が入ってこない様メッシュが付いている為ファミリー・女性におすすめ。	
ヘキサタープ		屋根と数本のポールでできたタープ。とにかく収納がコンパクトで雰囲気も◎	
テーブル (食食用)	1~2	ロースタイルが人気。一般的で使いやすいのはハイスタイルの二つ (三つ) 折りフォールディングテーブルがおすすめ。	
テーブル (料理用)	1	キャンプ料理を楽しみたい方におすすめなのが、キッチンテーブル。グリルとの設置の互換性を事前にチェック!	
テーブル (テント内用)	1	野外でも兼用できるミニテーブルがおすすめ。素材はウッド、ステンレス、アルミが主流であり、ウッドが人気。	
椅子 (人数分)	4	定番は持ち運びしやすい集束型のチェア。オシャレキャンパーには座面の低いローチェアが人気。	
スポンジマット (銀シート)	1~2	テント内用マット下にしくと更に快適性がUP!	
テント内用マット	1	クッション性だけでなく地面からの冷気も遮断する機能を持っている。テント内での必需品。	
シュラフ (人数分)	4	封筒型とマミー型があり、ファミリーキャンプには布団と同じような寝心地の封筒型がおすすめ。	
布団・毛布・タオルケット (真夏の場合)	4	真夏のキャンプでは、シュラフは熱い可能性があるため、タオルケットは予備として持って行くといい	
ランプ、ランタン	3	サイトを全体を照らす役割の大光量ランタンと食卓、テント内で使用するランタンの3つ必要。(テント内は電池式)	
バーベキューコンロ	1	4人家族には、40~55cmサイズ、4人以上での使用では60~80cmサイズがおすすめ。	
ツバーナー・ハイスタンド	1	キャンプ場が自宅のキッチンと同じ使い易さにしてくれる便利アイテム	
アウトドアキャリー	1	キャンプ場の移動に便利。水場や駐車場が遠いと持ち運びは大変です。	
たき火台	1	キャンプの雰囲気づくりにおすすめ。基本、焚き火時の直火は禁止。	

調理の時必要アイテム

準備時	クーラーボックス	2	「食料用」「飲み物用」は分ける必要あり。大型はタイヤ付きがお勧め。(40リットル程のがおすすめ)	
	保冷剤	6~10	サイズ、冷却温度の違いがあるので、効果的な使用をしましょう。前日に凍らせて準備が必要。氷点下タイプがおすすめ。	
	密閉容器	適量	食材を分割して収納できる便利グッズです。事前に食材準備をして入れてもっていきとスピーディ。	
調理時	トング	2	食材を挟む道具。肉用・野菜用に2本あると便利です。	
	包丁	1	調理時の必需品。収納時、安全に保管が出来るカバー付きのアイテムがお勧め。	
	まな板	1	最近はプラスチック、シリコンのものがあり軽くてコンパクト。	
	皿・コップ・割り箸	人数分	皿は深めの方がタレがこぼれず使いやすいです。	
	食用油・各種調味料	1	油以外にも好みで調味料を準備しましょう。各種タレ類もおすすめ。	
	ザル、ボウル	1~2	食材の水切り、準備にあると便利。	
	キッチンペーパー	1	調理・掃除で大活躍!	
	おこしがね(コテ)	2	鉄板を使用した料理をする際に必要 (やきそば、お好み焼き etc...)	
	BBQ 串	適量	BBQと言えば、串が必須。お肉や野菜を豪快にいただく!	
	アルミホイル	1	厚手のアルミホイルがあれば、鉄板の代わりに、グリルの炭床を汚さないカバーとして多機能に使える。	
清掃時	洗剤	1	片付けの際に必ず必要 (キャンプ場により使用不可があるのでご注意ください。)	
	たわし・スポンジ	各1	網やグリルの汚れ落としには、スポンジでなく丈夫なたわしが必要です。	
	雑巾	2~3	テントやタープ、イスなどの汚れ落としに。	
	ゴミ袋	5	必ず準備するアイテム。ゴミの整理は最低限のマナーです。	
	ティッシュペーパー・ウェットティッシュ	適量	テーブルや鉄板の掃除に大活躍。	